2021年4月
イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

給与受け取り方法「デジタル払い」希望は5％未満

株式会社アイデム
東日本事業本部　データリサーチチーム

(c) AIDEM Inc.

調査概要

調査名

- 【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- 現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- 総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2021/04/01～2021/04/30の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- 2021/04/02～2021/05/05(34日間)

調査方法

- インターネットリサーチ
  （株式会社マクロミル「クエスタント」を使用）

有効回答数

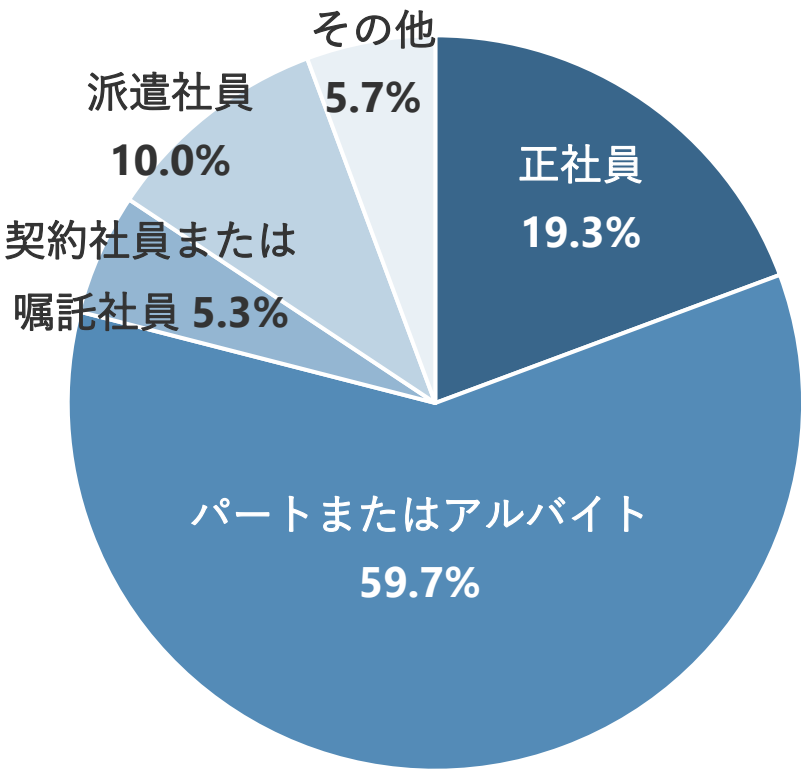
- 300件

※調査結果は四捨五入のために合計が100％にならない場合があります

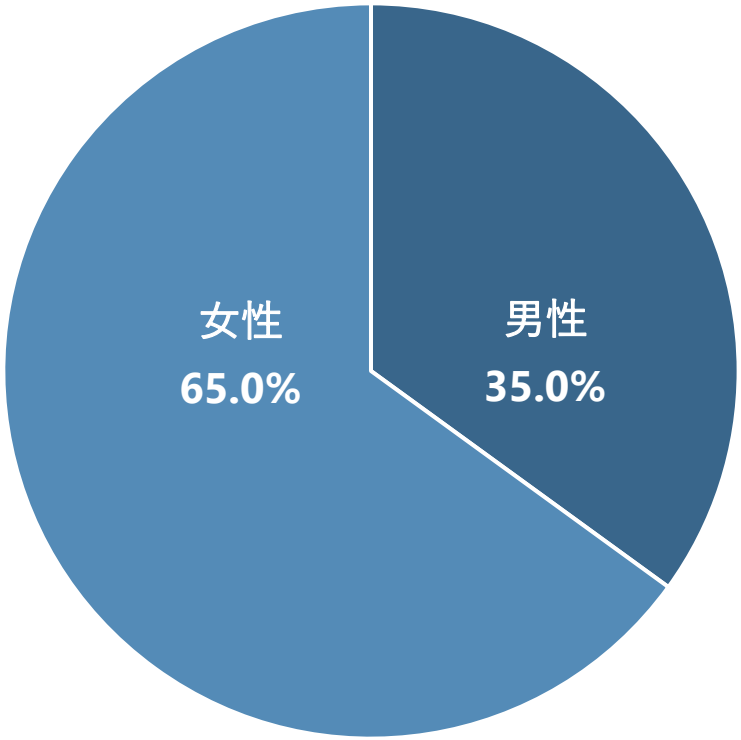
(c) AIDEM Inc.

回答者プロフィール

希望する雇用形態



性別



(c) AIDEM Inc.

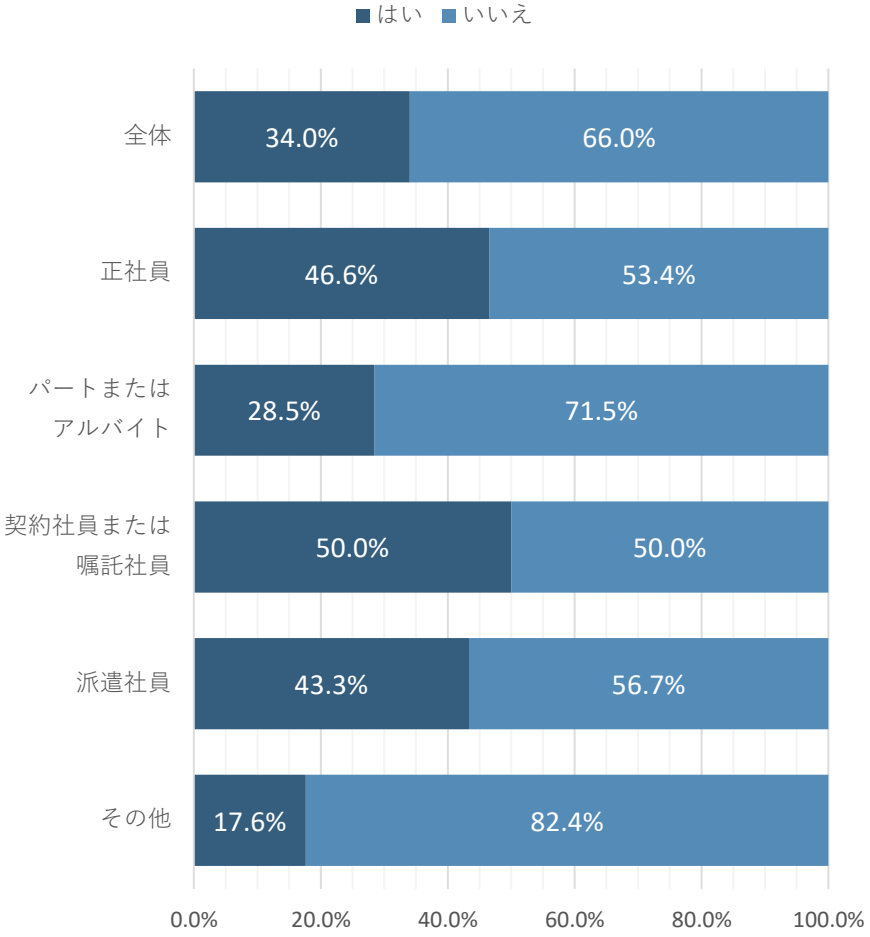
新型コロナウイルス感染症の影響

イーアイデムから求人に応募した人に、今回仕事探しをしている理由に「新型コロナウイルス感染症の影響」は関連しているかきいた。

全体で34.0%が「はい」と回答し、約3割の回答者が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをしていたことがわかった。2020年4月調査時と比較すると、61.8%から27.8pt減少した。例年4月は新規求職者が多い傾向があることから、感染症の影響から仕事探しを始めた人の割合が少なくなったようだ。

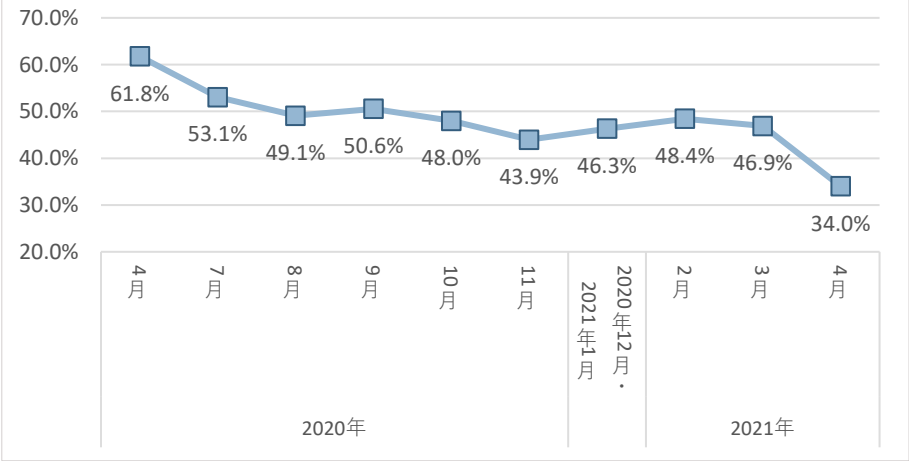
希望雇用形態別に影響の有無をみると、「パートまたはアルバイト」では3割未満となった。

今回仕事探しをしている理由には、新型コロナウイルス感染症の影響は関連していますか。



参考

新型コロナウイルス感染症の影響
「はい」と回答した割合



(c) AIDEM Inc.

新型コロナウイルス感染症拡大前後で仕事を選ぶ際の条件等は変わったか

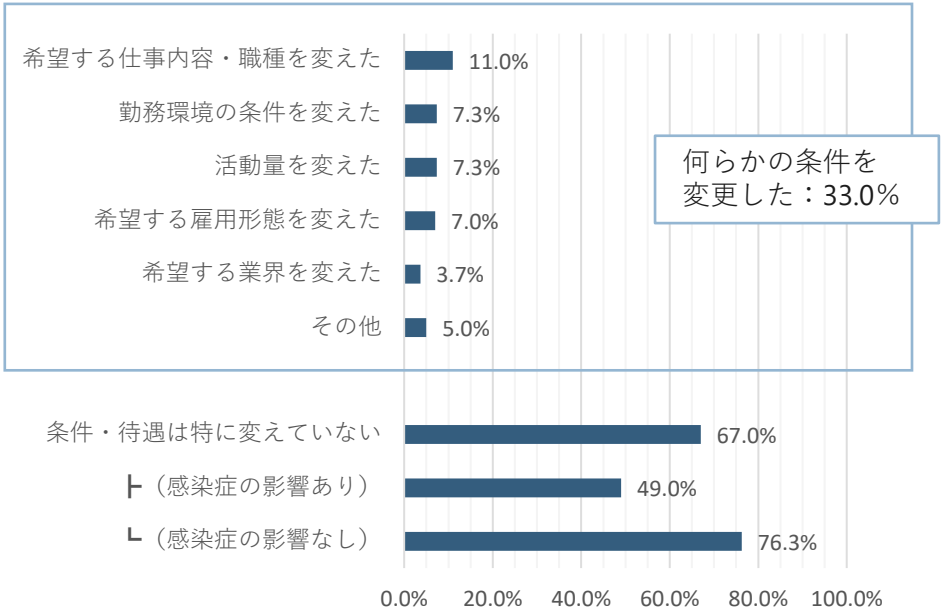
AIDEM

イーアイデムから求人に応募した人に、新型コロナウイルス感染症拡大の前後で仕事を選ぶ際の条件等は変わったかきいた。全体では「何らかの条件を変更した」33.0%、「条件・待遇は特に変えていない」67.0%となり、コロナ禍においても仕事探しの軸を変えない人が約7割となった。

「何らかの条件を変更した」人の状況を見ると、最も多かったのは「希望する仕事内容・職種を変えた」で11.0%、次いで「勤務環境の条件を変えた」と「活動量を変えた」が7.3%となった。先々の雇用維持、収入に不安を覚え条件を見直したという回答が多かった。

「条件・待遇は特に変えていない」について、今回仕事探しをしている理由に新型コロナウイルス感染症の影響がある人とない人を比較した（P4参照）。「感染症影響あり（『はい』と回答／以下同）」の人は、「条件・待遇は特に変えていない」割合が49.0%で、「感染症影響なし（『いいえ』と回答／以下同）」（76.3%）より27.3pt低くなっており、約半数が注目する条件・待遇を見直したと回答した。

新型コロナウイルスの感染拡大により、仕事探しの際に注目する条件や待遇は変わりましたか？（複数回答）



見直した条件

希望雇用形態	性別	年齢層	自由意見
その他(正社員か契約社員)	女性	20代	保育士になるために働きながら資格取得に向けて励んでいたが、このご時世でアルバイトの状態に不安を感じ、転職を決意した。
その他（こだわらない）	女性	40代	Wワークで探している。1社だけではほしい給料に届かないため。
正社員	女性	40代	コロナウイルスの影響により、夫の年収が激減しました。家族の為に私も頑張って年収を上げたいと考えました。
契約社員または嘱託社員	女性	40代	通勤時間の短めの勤務場所を選ぶようになった
パートまたはアルバイト	男性	50代	今までは都内へ出勤しておりましたが、地元市内に決めました。
契約社員または嘱託社員	男性	50代	在宅勤務で仕事をしていましたが、別の生産技術の業務に移行することが決まり、従前のスキルを活かす仕事を探し始めました。

(c) AIDEM Inc.

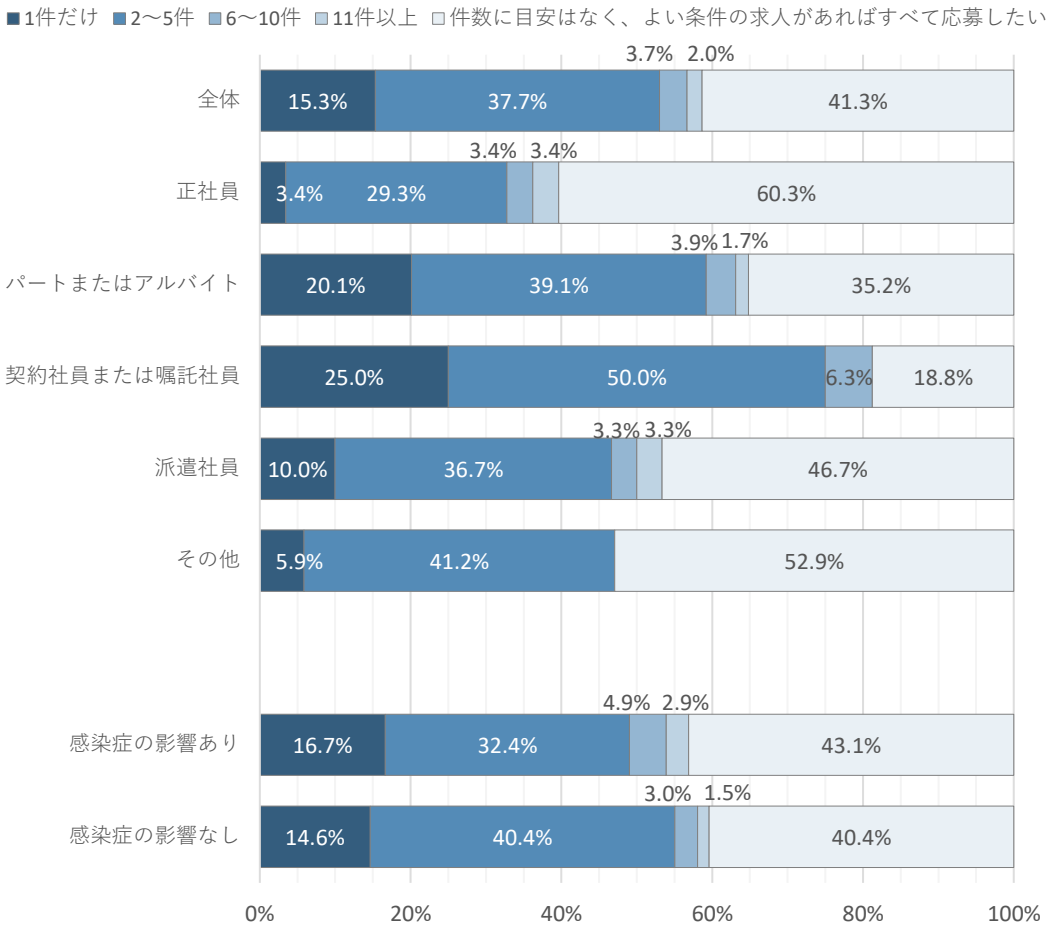
応募件数の目安

イーアイデムから求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「よい条件の求人があればすべて応募したい」が最も多く41.3%、次いで「2～5件」が37.7%、「1件だけ」が15.3%、「6～10件」が3.7%、「11件以上」が2.0%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は約8割となり、多くの人が複数応募を前提に活動している。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では、「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」の割合が60.3%と、半数を超える結果となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルス感染症の影響の有無（P4参照）との関連をみると、「感染症の影響なし」と回答した人は「感染症の影響あり」と回答した人よりも「2～5件」の応募を検討する割合が多かった。「感染症の影響あり」と回答した人の方が、「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」を選んだ割合が多かった。

今回の求職活動期間の中で、
およそ何件ほど応募しようと思いますか。



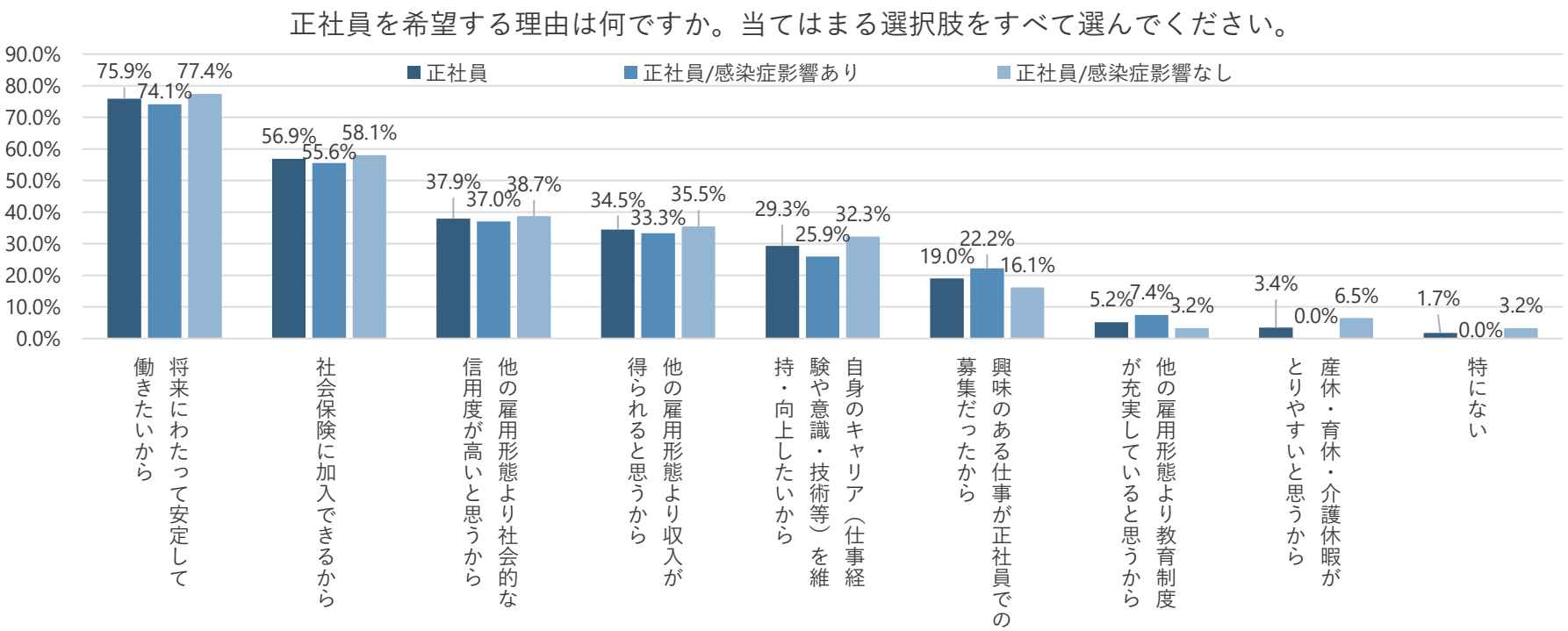
(c) AIDEM Inc.

正社員を希望する理由

イーアイデムから求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」で75.9%、次いで「社会保険に加入できるから」が56.9%、「他の雇用形態より社会的な信用度が高いと思うから」が37.9%となっている。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関連をみると、「感染症影響あり」の人は「興味のある仕事が正社員での募集だったから」を選んだ割合が、「感染症影響なし」の人より6.1pt高かった。業務自体への意欲で仕事探しを進めている人が多い傾向がみられる。

「感染症影響なし」の人は「自身のキャリアを維持・向上したから」を選んだ割合が、「感染症影響あり」の人よりも6.3pt以上高かった。キャリアアップのひとつの選択肢として、正社員という雇用形態が選ばれているようだ。



(c) AIDEM Inc.

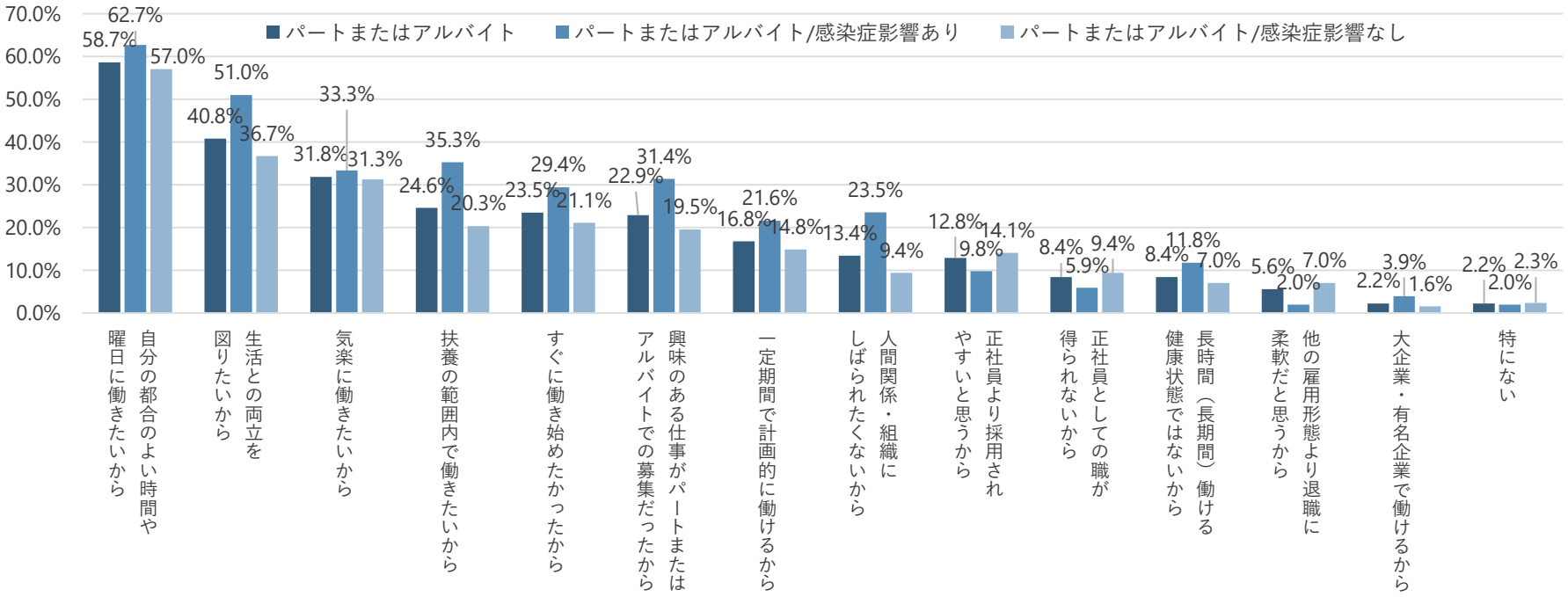
パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムから求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合の良い時間や曜日に働きたいから」で58.7%、次いで「生活との両立を図りたいから」が40.8%、「気楽に働きたいから」が31.8%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人と比べて、「扶養の範囲内で働きたいから」「生活との両立を図りたいから」「人間関係・組織にしばられたくないから」の3項目で14pt以上高くなった。割り切った関係で、必要な分だけ働きたいと考えている人が多いようだ。

「感染症影響なし」の人は「感染症影響あり」の人よりも「他の雇用形態より退職に柔軟だと思うから」で5.1pt、「正社員より採用されやすいと思うから」で4.3pt高くなった。一時的な収入の補填を理由に仕事探しをしている場合、充足した段階で特に仕事を続ける理由が無ければ、離職するつもりでいる人が一定数いる可能性がある。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



(c) AIDEM Inc.

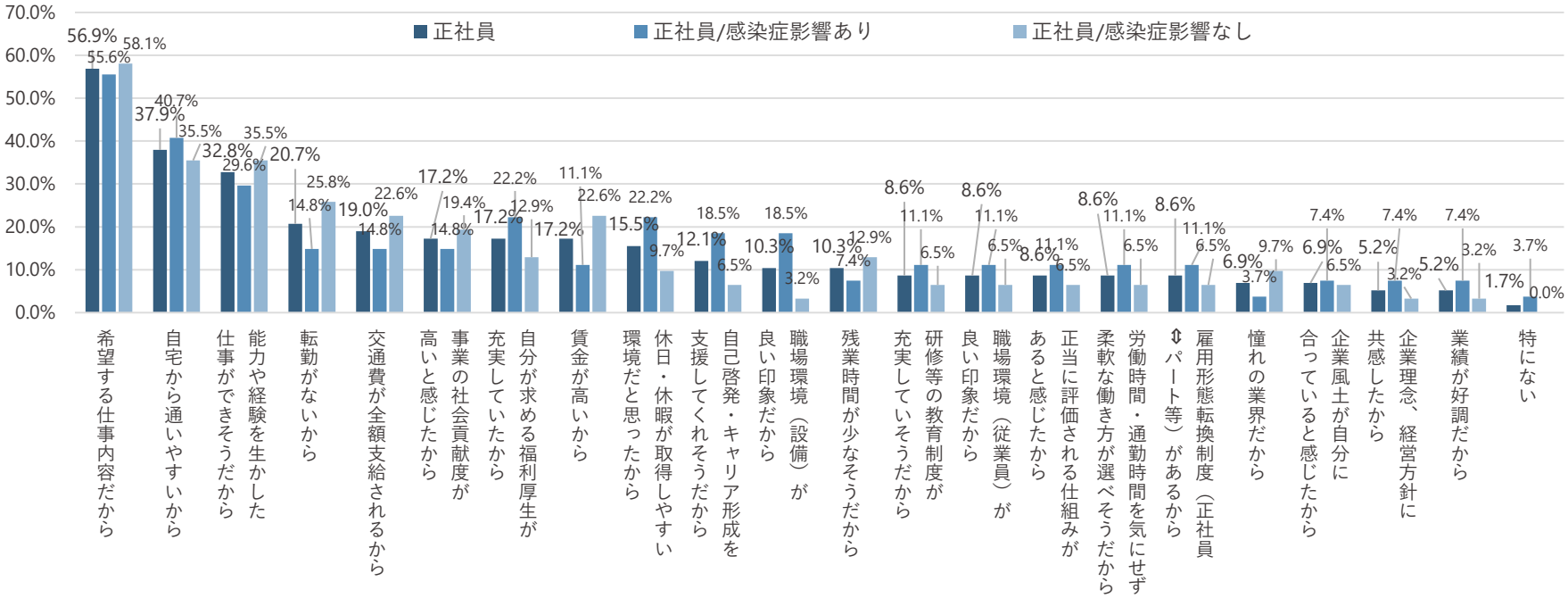
求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムから求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「希望する仕事内容だから」の56.9%、次いで「自宅から通いやすいから」が37.9%、「能力や経験を生かした仕事ができそうだから」が32.8%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関係をみると、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「職場環境（設備）が良い印象だから」が15.3pt、「休日・休暇が取得しやすい環境だと思ったから」が12.5pt、「自己啓発・キャリア形成を支援してくれそうだから」が12.1pt高かった。オフィス出勤であっても感染症対策がしっかりと施されていたり、休みやすい風土があるところが好まれているようだ。

「感染症影響なし」の人では、「感染症影響あり」の人よりも「賃金が高いから」が11.5pt、「転勤がないから」が11.0pt高かった。職場を変えて、収入の多い仕事を見つけたいと動く人がより多いようだ。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



(c) AIDEM Inc.

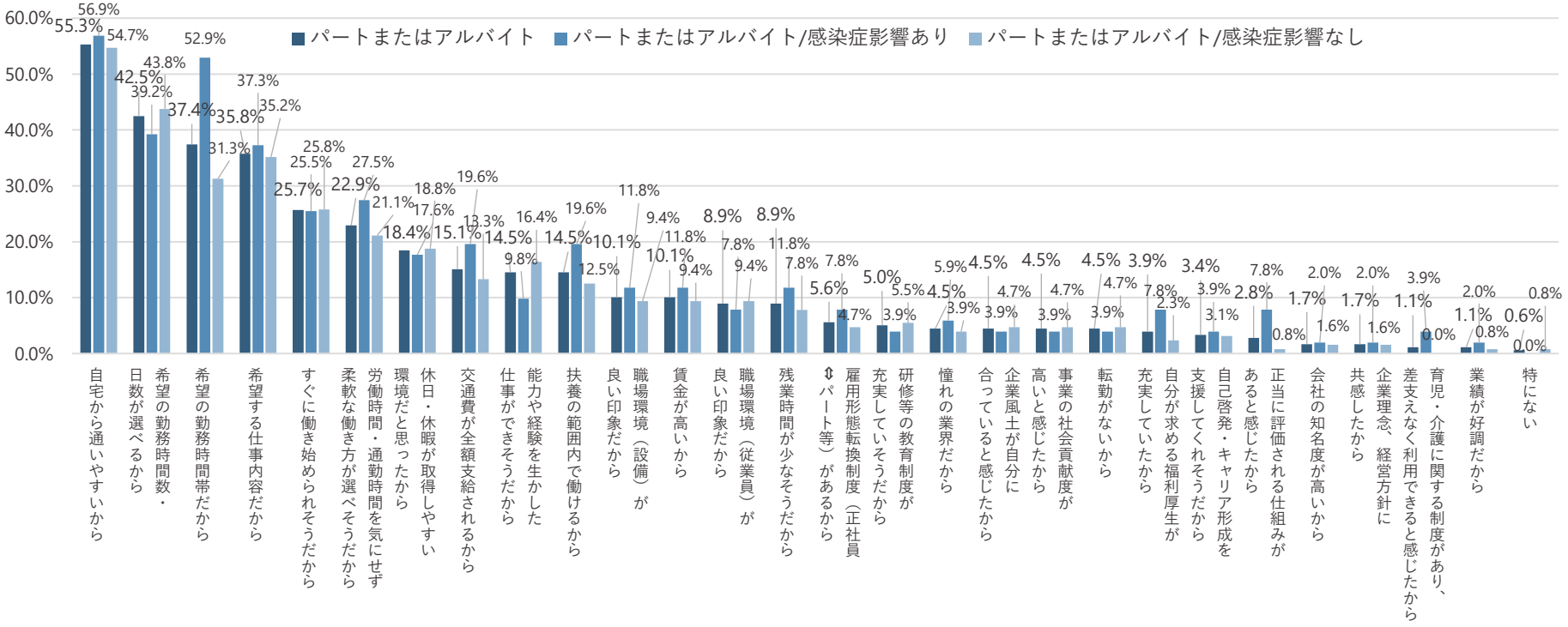
求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムから求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で55.3%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が42.5%、「希望の勤務時間帯だから」が37.4%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「希望の勤務時間帯だから」が21.7pt高くなった。応募した理由として「感染症影響あり」の中で2番目に高いものだった。1日の中で仕事に使える時間帯が限られている人が、感染症の影響を受けて仕事探しをしている人の中には特に多いようだ。

「感染症影響なし」の人は、「感染症影響あり」の人よりも「能力や経験を生かした仕事ができそうだから」が6.6pt、「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が4.5pt高かった。既に持っているスキルが活用できる仕事を探している人がより多いようだ。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



(c) AIDEM Inc.

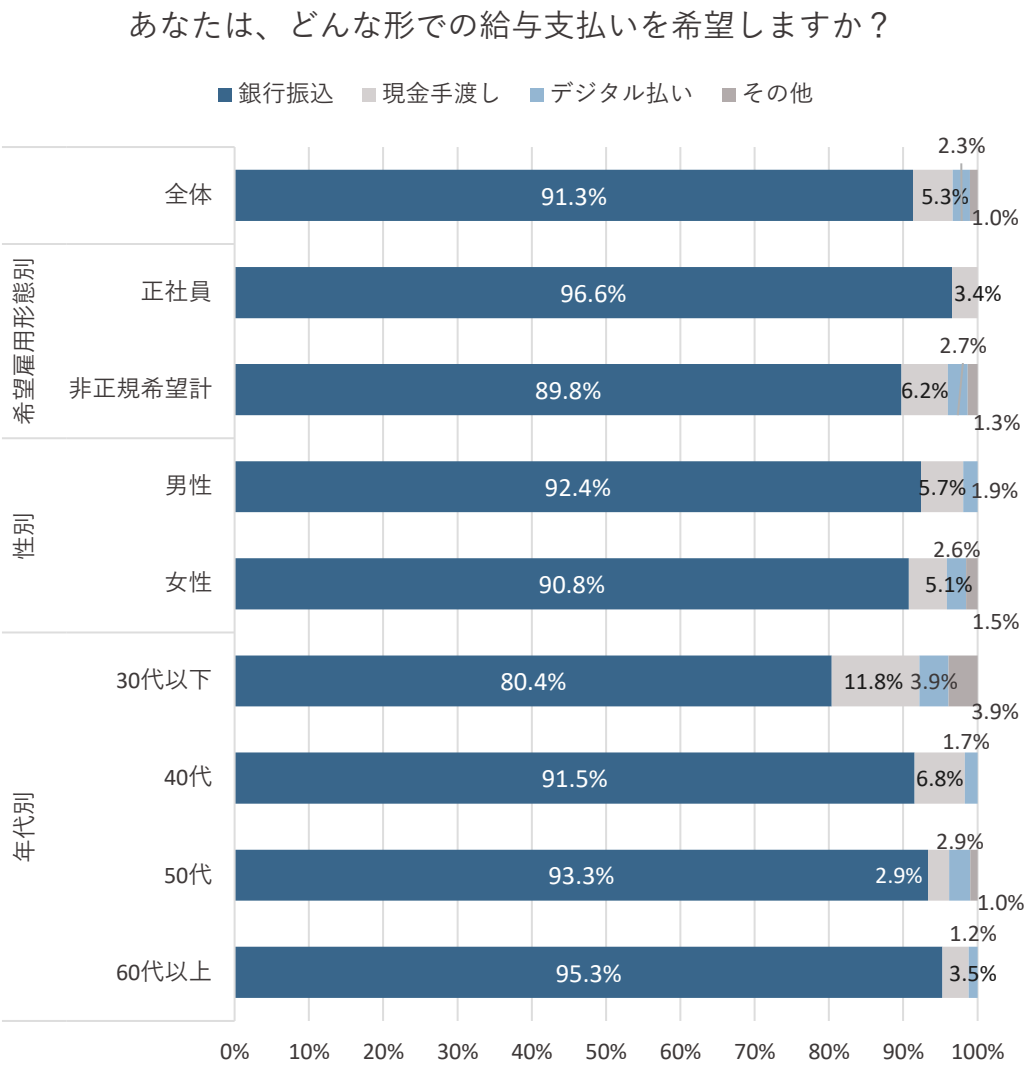
給与の受け取り方法

現在、企業の給与支払いの新たな方法として「デジタル払い」が議論されている。スマホ決済サービスやプリペイドカード、電子マネーでの受け取りにより、出金手数料無くキャッシュレス決済が可能になったり、給与の日払いの手間が減る期待がされている。

イーアイデムから求人に応募した人に、希望の給与受け取り方法をきいた。希望が最も多かった方式は「銀行振込」で91.3%、次いで「現金手渡し」の5.3%となり、今後活用が期待される「デジタル払い」は2.3%だった。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では「銀行振込」が96.6%だった。「非正規希望計」（パートまたはアルバイト、契約社員または嘱託社員、派遣社員希望の計）では「現金手渡し」が6.2%と全体より高くなった。

年代別にみると、年代が上がるにつれ「銀行振込」を希望する割合が多くなった。「30代以下」では、「現金手渡し」が11.8%で1割を超えた。「30代以下」の中には10代も含まれており、何らかの機器が無くてもその場で使える利便性が支持されているとともに、自身が自由に使える口座を持たない割合が他の層より多いことも、影響している可能性がある。



(c) AIDEM Inc.